

「人が向上すれば萬物も栄える」

人は天命の御意みこころのまにまに進むならば、己の心を養う結果となり、精神的に向上する。不思議なことに精神が広大になって来れば、肉體も大きくなる。人間が大精神に帰化して宇宙本意に随順するならば、大地も大きくなる。大地が大きくなるということは、大地の力が増大することを意味する。地力が増大し、肥沃の地となれば、荒地もなくなる。即ち耕作の地面は拡大されて来る。土地を求めて争う必要はなくなるのである。植民地の争奪で血を流した歴史は、人間の無知と不信の記録である。人間が大精神に帰化して宇宙本意に従えば、大地も人も共に精神力を與えられて大きくなる。人の精神が向上すれば人群物類も今までより以上に豊かに繁栄し、土地の争奪、食糧の危機も解消される。農民の心が清らかになれば五穀も豊穰を謳うことが出来、果物も大きくまた味がよくなる。換言すれば人の靈魂の向上と共に人群物類悉く向上し、ひいては大地も草木もすべて繁栄する。この妙理は科学では説明出来ない。

肥料ばかりで、稔りがあると思うのは大きな誤りである。世が修羅場と化し、人が争いを激化すれば、争いの邪気が充満して、悪気を吐き出し、その醜悪な気は宇宙大気に逆らっているから、作物にも悪い影響を與えることを知らねばならない。天を仰いで月日に感謝し、地に伏して慈恩に感謝し、宇宙大気に触れて敬虔けいけんとなり、この心意気で耕作すれば自然に作物は蒼々と茂り、豊かな実を結ぶのである。五風十雨という理想的な天候も、人間界が正しくなければ恵まれないし、三災五難、風・水・火の禍いを招くに至るのである。